

緊急討議 東日本大震災
被災支援とMLAK—いまわたしたちにできることは
K（公民館等）からの報告

平成23年4月23日（土）於学習院大学南3号館203教室
国立教育政策研究所教育課程研究センター長
（文部科学省前社会教育課長、公民館海援隊仕掛け人）

神代 浩

1 現状—3つの「三重苦」

（1）被災地

予想以上の被災、想定外の避難所対応、県公連の機能麻痺

（2）非被災地

教育委員会内の存在感不足、過度な自粛ムード、低いITリテラシー

（3）「普通の人々」レベル

社会教育への理解不足、Kへの理解不足、NPOとKとの連携不足

2 Kの復旧、復興に向けて

—被災地の隅々に行き渡る「MLAKネットワーク」の構築（別紙参照）

（1）被災地

コミュニティ、市町村、県レベルのMLAKネットワーク構築

県や被害の甚大な市町村等に「MLAK押し掛け支援本部」の設置

（2）非被災地

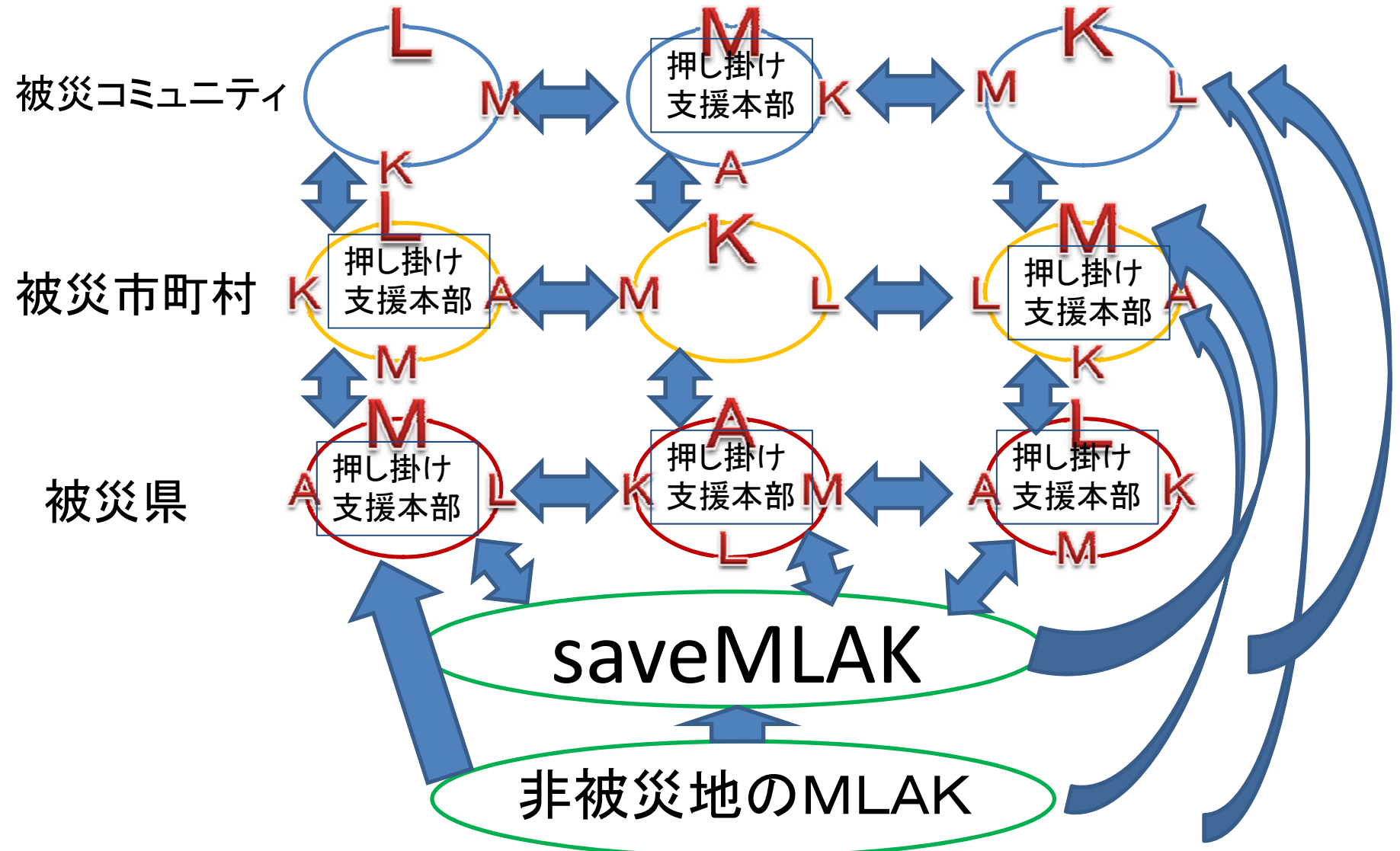
「MLAK押し掛け支援本部」への職員派遣

社会教育への理解促進に向けた学習事業の展開

（3）「普通の人々」レベル

「MLAK押し掛け支援本部」を活用した効果的な支援活動

被災地の隅々に行き渡る 「MLAKネットワーク」(私案)



事 務 連 絡
平成 23 年 4 月 19 日

各都道府県・指定都市教育委員会社会教育主管課長 殿

文部科学省生涯学習政策局社会教育課

東日本大震災の被災地における「学び支援」のための
ポータルサイトの活用について

今般発生した東日本大震災により、多くの被災者が過酷な避難生活を余儀なくされており、被災地では人的・物的支援をはじめとしたあらゆる支援が必要となっています。

平成23年4月1日付22文科生第1031号でお知らせしたとおり、このたび文部科学省では、被災地域の支援ニーズと各団体が提供可能な支援をマッチングさせるために「子どもの学び支援ポータルサイト」(<http://manabishien.mext.go.jp/>)を開設致しました。

ポータルサイトの名称は「子どもの学び支援」となっていますが、広く「学び」を対象としており、学校のみならず、被害のあった公民館、図書館、博物館などの社会教育施設への人的・物的な支援も念頭に置いています。これら社会教育施設の早期復旧は、地域の復興や活性化に大きく貢献するものと期待されます。

については、震災の被害に遭われた地方公共団体の教育委員会におかれては、所管の社会教育施設において職員の派遣や物資の提供等の人的・物的支援が求められている場合等には、本ポータルサイトを積極的に活用し、広く支援を要請いただきますようお願いいたします。ネット環境が復旧していない場合には、専用ダイヤルで直接支援要請を承りますので、ご利用ください。

また、すでに多くの教育委員会において被災地への支援活動が進められていることと存じますが、その際、本ポータルサイトの活用が可能な人的・物的支援がありましたら、ぜひ登録をお願いします。あわせて、関係するHPからリンクを張っていただく等、本ポータルサイトの周知・活用の促進にもご協力いただければ幸いです。

詳しいサイトの使用方法、留意事項等につきましては、別紙をご参照ください。

なお、お手数ながら、各都道府県教育委員会におかれては、本件については、域内の市町村教育委員会にもご伝達くださるようお願いいたします。

照会先：文部科学省生涯学習政策局政策課

電話：03-5253-4111（内線3406・3473）

080-2071-1689（専用ダイヤル（当分の間、設置））

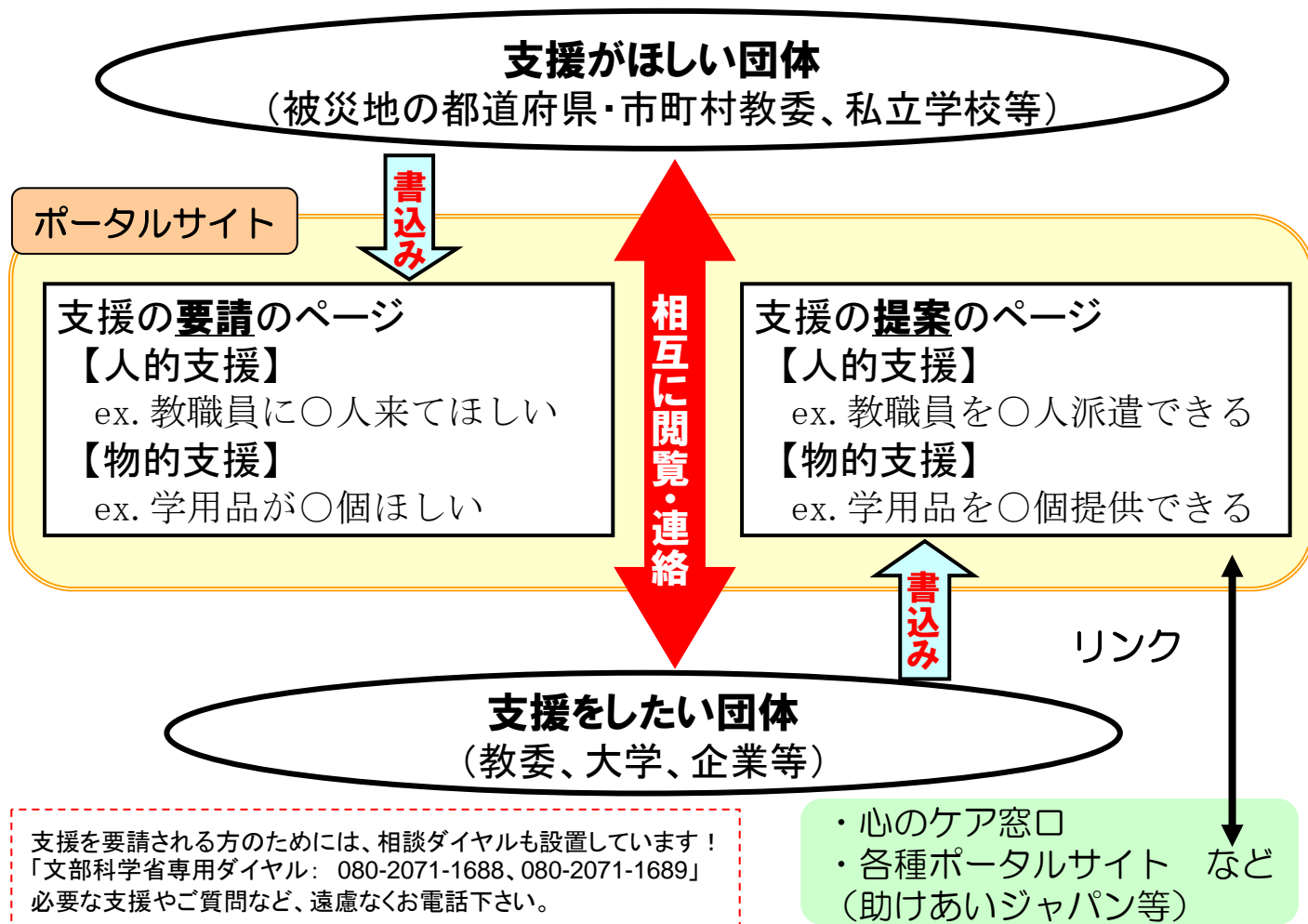
080-2071-1688（専用ダイヤル（当分の間、設置））

※連絡は10:00～18:00（土日祝日含む）をお願いします。

東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト

※URL: <http://manabishien.mext.go.jp>

被災児童・生徒等がより必要な支援を受けやすくするため、**被災者のニーズと提供可能な支援を相互に一覧**できるポータルサイトを開設。



(掲載する支援内容と関連情報の例)

①人的支援

・支援内容: 教職員、専門スタッフ、その他ボランティア等

※関連情報: 人数、派遣形態、業務内容、期間、資格の有無、交通費等
支給の有無、滞在期間中の待遇など

②物的支援

・支援内容: 備品・学用品等(教材・筆記用具・パソコン)、一般図書
その他(玩具含む)

※関連情報: 物品詳細、数量など

③被災した子どもの学校への受け入れなどその他支援

・支援内容: 被災した子どもの学校への受け入れ等

※関連情報: 受け入れ人数、期間、学校種、住宅事情等の生活情報など